

報道各位

【取材のお願い】超極早生温州ミカン 「みえの一番星」いよいよ出荷開始

J A伊勢三重南紀地区では“超”極早生温州ミカン「味一号（品種＝みえ紀南1号）」の出荷が始まります。

露地栽培の温州みかんの中で最も早い9月上旬に収穫が始まる「味一号」。その中でも外観や糖度10以上、酸度1.1以下などの厳しい基準を満たしたものは三重ブランド「みえの一番星」として出荷します。甘みと酸味のバランスが良く、緑色の果皮とオレンジ色に輝く果肉のコントラストが美しいミカンです。



いよいよ9月14日（木）に初売りを迎え、9月下旬までに県内と中京圏を中心とした市場へ約900トンの出荷を見込んでいます。

お忙しいところ恐れ入りますが、ぜひ取材にお越し下さいますようよろしくお願いいたします。

超極早生「味一号」取材スケジュール

「味一号」収穫作業

日時：9月9日（土）他 時間要相談
集合場所：寺谷公園駐車場
園地場所：御浜町中立の予定
生産者：（株）オレンジアグリ（JA子会社）

「味一号」初選果作業

日時：9月12日（火）8：30～
場所：J A伊勢 統一選果場
（下市木 2135）

※お越しいただける方は、
ご一報お願いします。
写真の提供も可能です。

▼規格を確認する部会役員や市場関係者ら（9/4撮影）



▲味一号を収穫する様子（昨年撮影）



▲味一号を選果する（昨年撮影）

【お問い合わせ先】

伊勢農業協同組合 三重南紀経済センター 経済グループ（広報担当：宇城）
電話：05979-3-1616 携帯：080-3911-3076 Email: m-ushiro@ise.jamie.or.jp



【味一号（品種：みえ紀南1号）】

みえ紀南1号は三重県が県主力品種の「崎久保早生」を母に「サマーフレッシュ」を交配し育成した品種。露地栽培で、9月中旬と全国トップクラスの早期出荷ができる。

重さは90グラム前後、内容先行型で果皮の色づきよりも先に果実が成熟するので外観は青くとも減酸が早く、甘さと程よい酸味のバランスで食味に優れる。

JA伊勢では「みえ紀南1号」を「味一号」の商標で出荷します。味一号の中でも外観や内部にも問題なく、糖度10度以上・酸1.1以下の高品質なものを「みえの一番星」として出荷。JA統一選果場の光センサーで全量をチェックしています。

「みえの一番星」というブランド名は台風で大きな被害を受けた産地をけん引する希望の星になってほしいと願いを込めて、そして本州でトップクラスの早さで出荷されることにちなんで2011年に前三重県知事で衆議院議員の鈴木英敬氏によって名づけられました。

温州部会では高品質栽培を目指し、樹の根本やほ場一面に白いシートを張るマルチ栽培を推進しています。高齢の生産者の園地ではマルチ被覆を部会役員や若手生産者が請け負うなどして、被覆面積を味一号全体の約6割まで拡大しています。糖度を上げ、味を凝縮させるには水分と地温のコントロールが重要であり、天候に合わせて開閉することで水分をコントロールし、マルチシートの反射で樹全体に日光を当てるなどの努力で安定した高品質なみかん作りに取り組んでいます。

今年産の「味一号」

糖度は平年並み、酸抜けはやや早く、玉肥大の遅れが懸念されたが直近の雨により伸びてきた。